

2014年6月ドミニカ共和国内政、外交、経済定期報告

2014年7月9日
在ドミニカ共和国日本国大使館

1. 内政

(1) 政党の動き

ア. 12日, Jesús Vásques 元上院議員は, 2016年総選挙に向け PLD の対抗馬として, 7月中にメヒア元大統領並びにアビナデル・ドミニカ革命党幹部が Partido Revolucionario Mayoritario (PRM) を設立するであろうとテレビ番組で述べた。

イ. 25日, 2016年大統領選挙 PLD 候補として出馬を表明しているハビエル観光大臣は, 自身の選挙事務所の開所式を行い, 現在の立候補者の中で自身が最も大統領に選ばれる確率が高いと述べた。

(2) 防犯・緊急事態対応 911 国家システム

2日, クエジョ大統領府副大臣兼 911 報道官は, 「911 システム」を始動して2日間で4万2千件以上の通報があったが, 実際緊急を要する通報は1, 216 件のみであり2万9千件以上はイタズラ電話, 他は間違い電話や, 緊急を要する通報では無かったと述べた。

(3) 警察官の懲戒免職処分

11日, カスティージョ警察長官は, 高官を含む23名の国家警察職員を懲戒免職処分にしたと発表した。本年に入って懲戒免職処分を受けた人数は3, 208名に上る。

(4) チクングニア熱

ア. 11日, イダルゴ厚生大臣は, この1週間でチクングニア熱が疑われる患者が新たに2万人増え, 3月にチクングニア熱が初めて確認されてから累計患者数が7万7, 000名になったと発表した。

イ. 26日, 厚生省は, チクングニア熱患者が13万6, 835名に上り, 労働者の29%, 児童の20%が病欠していると発表した。サントドミンゴ県では, 全世帯の68%で少なくとも家族の1名が感染している割合になった。

(5) 治安関係

ア. 10日, 麻薬取締局 (DNCD) は, ハイナ港に入港した果物野菜等を詰め込んだニューヨーク行きのコンテナから160袋のコカインを押収し2名を逮捕, また, プンタ・カナ空港においても2重天井となっていたコンテナから12袋のコカインを押収し関係者を逮捕したと発表した。

イ. 17日, パレ・ペレス国防大臣は, 本年1月から5月までに前年同期比34%減少する4万2, 000人以上の不法入国ハイチ人を強制送還したと述べ, 前年よりも減少した要因は, 国境周辺警備を増強したことからではないかと述べた。

ウ. 19日, DNCD は, コスタリカから当国カウセド港に到着したスペイン・バルセロナ行きのコンテナ2つからタバコの箱に偽装された1, 092キロのコカインを押収したと発表した。

エ. 21日, DNCD は, ブラジルからカウセド港へ入港したプエルトリコ行きのコンテナから16袋のコカインを押収し関係者3名の事情聴取を行っている旨, 更にプンタ

カナ空港からスイスのチューリッヒへ向けて出発する予定であった19歳のスウェーデン人と24歳のドイツ人女性を体にそれぞれ174袋と152袋のコカインを巻き付けていたことから逮捕した旨発表した。

オ. 26日、DNCDは、プエルトリコ行きのフェリーに積み込む予定であった救急車の燃料タンクから383袋のコカインを押収し、一名を逮捕したと発表した。

2. 外交

(1) メディーナ大統領の外遊

ア. 5月31日、メディーナ大統領は、セレン・エルサルバドル新大統領就任式出席の為エルサルバドルを訪問し、翌日1日就任式に出席した。ペラルタ大統領府官房大臣、ファドゥール内務警察大臣、リサルド大蔵大臣、トゥルジョールス外務筆頭次官等が同行した。

イ. 13日、メディーナ大統領は、スペイン・マドリッド経由でバチカンを訪問し、フランシスコ・ローマ法王に謁見、約30分ほどの非公開会談を行った。メディーナ大統領によると、ローマ法王に対して、現政権の社会政策、5月末に公布した帰化法の概要等の説明を行い、ドミニカ共和国訪問の招待を行った。また、国連農業開発基金(IFDA)理事とも会談を行った。

ウ. 30日、メディーナ大統領は、バレーラ・パナマ新大統領就任式出席の為にパナマを訪問した。モンタルボ大統領府大臣、ペラルタ大統領府官房大臣等が同行した。

(2) SICA 首脳会合

27日、当国東部プンタ・カナにおいて第43回中米統合機構首脳会合が開催され、メディーナ大統領が出席した。マルティネス SICA 事務局長が、「プンタ・カナ宣言」並びに「米国への中米児童・青少年単独不法移民の状況に関する特別宣言」を読み上げ採択された。最後に、メディーナ大統領からバーロウ・ベリーズ首相へ SICA 議長国が引き継がれ終了した。また、本会合において、ビクトリア・デ・アビレス女史が SICA 新事務局長へ選任された。任期は、2017年6月30日まで。

(3) バイデン米国副大統領の訪問

18日、バイデン米国副大統領が当国を訪問し、翌日19日メディーナ大統領と会談を行った。会談において、バイデン副大統領は、メディーナ大統領が不法移民問題に対して迅速な対応をしたこと、教育予算を増大させていることを評価し、米国は引き続き教育、治安、エネルギー、移民、麻薬対策等の両国共通の関心分野への協力を強化していくと述べた。

(4) 当地米国大使館の開所式

24日、メディーナ大統領は、Arroyo Hondo 地区に新設した米国大使館の開所式に出席した。総工費1億9,300万米ドルをかけ建設された大使館は、1万6,000ヘクタールの面積を有し、18省庁から700名以上が勤務する。領事窓口は、旧大使館の27から58に増設され、領事は35名が勤務する。

(5) スイスとの犯罪者退去強制協定

17日、下院は、ドミニカ共和国とスイス間の犯罪者退去強制協定を批准した。協定

は、ドミニカ共和国国籍の犯罪者がスイスにおいて刑期を終えた後、ドミニカ共和国へ退去強制処分となることを定めている。

3. 経済

(1) 国内の経済活動

ア. 13日、IMFは、5月末に行った4条協議訪問ミッションに対する理事会評議を終えプレスリリースを発売した。右によると、2013年は、鉱業、建設業、農業、観光業が牽引し4.1%の経済成長を達成、インフレは昨年同様3.9%と低く抑えられた。2013年の政府債務を前年比3%削減を達成しGDP比5%としたものの、政府累積債務額は2008年時GDP比35%から48%へ増加している。2014年政府債務額はGDP比4.2%に抑える見込み。2013年経常赤字は、金の輸出、観光客の増大、公共投資を抑えたため前年比2.6%減少の4.2%となった。

イ. 16日、カミロ銀行監督庁長官は、クレジットカード金利手数料が2013年10月時点で適用されていた84%（年率）から現在は66%へ削減されたと述べ、昨年10月に銀行監督庁とクレジットカード発行体が利率削減に合意した通り2015年1月には54%まで削減されるよう推移を見守ると発言した。

(2) 航空

18日、United航空は、本年12月20日から2015年1月4日までプンタ・カーナヒューストン間を土曜日のみ2便、3月8日から5月3日まで土・日のみ1便ずつ就航させると発表した。

(3) 観光

ア. 4日、日本の豪華客船「飛鳥II」が、約800名の日本人クルーズ客を乗せて初めてサントドミンゴのSans Souci港へ入港した。「飛鳥II」船長とSans Souci港の代表が、入港セレモニーとして記念楯の交換を行った。日本人クルーズ客は、サントドミンゴ市内、旧市街地、ボカチカ等を見学して楽しんだ。

イ. 16日、マカルジャ・ドミニカ観光港湾運営組合長は、2013-2014年クルーズシーズンが終わり、シーズン中60万人以上のクルーズ客が当国を訪れたと述べた。

ウ. 22日、Villedrouinハイチ観光大臣は、ドミニカ（共）観光メディア協会主催による第5回観光メディア会合において、ドミニカ（共）政府との合意に基づき本年7月にハイチ観光局事務所をドミニカ共和国に開設すると発表した。

エ. 30日、ガルシア観光大臣は、世界最大のクルーズ客船運行会社のカーニバル・コーポレーションが、2015年にプエルト・プラタ（北部）に就航するため現在ターミナル整備を行っていることに合わせて、マイモン市とルペロン市を結ぶ道路整備に本日から着工すると発表した。道路整備により観光客誘致を促進する狙い。また、現政権中にルペロン市とモンテクリスティ市を結ぶ道路整備に着工したいとも述べた。

(4) エクスポ・マンゴー2014年

5日、ペラビア県（南部）バニにおいて10回目となるエクスポ・マンゴー2014がカナダを招待国として8日まで開催された。会期中、150種以上のマンゴーの展示販売の他、マンゴーを使用した様々な食品展示から栽培技術等の展示も行われた。

(5) 電力

12日、ラミレス国家エネルギー委員長は、水力発電を除く再生可能エネルギーに対して総額1億5,000万米ドルの投資を本年行うと発表した。主な事業として、2016年までに風力による発電を110メガワット増加させ総発電力の3.5%を再生可能エネルギー（水力発電を除く）にしたいと述べた。風力発電事業により、年間20万バレル分の石油を節約できると試算している。

(6) 国際関係

ア. 4日、台湾は、経済企画開発省管轄の公共投資事業運営能力向上プログラムへ10万米ドルを贈与した。同プログラムの報告書が提出されると残りの10万米ドルが贈与される予定。

イ. 12日、Young-Kyo Oh 元行政自治大臣を団長とする韓国のミッションが、ロドリゲス・ドミニカ輸出投資センター長官とともに、Instituto de Innovación e Industria (IIBI:産業革命機構)を訪問した。韓国ミッションには、高麗大学教授、仁荷大学教授陣の他、産業界の代表等が含まれていた。ミッションは、IIBIの研究内容の説明を受けた。

ウ. 13日、カスティージョ商工大臣とフェルナンデス国家フリーゾーン審議会会長を団長とする15以上のフリーゾーン企業団が、投資呼び込みのために韓国及び台湾へ向け出発した。医療器具、電子機器、スポーツ用具、玩具、製靴、縫製業等に携わる合計200社以上と懇談を行った。

エ. 15日、イスラエルを訪問しているカスティージョ・エネルギー・鉱山大臣は、イスラエルのシャロム・エネルギー・インフラ・水道大臣と会談を行い、近々両国はエネルギーと鉱業分野における協定を結ぶと述べた。シャロム大臣は、まず最初の取り組みとして再生エネルギー分野の専門家をドミニカ共和国へ派遣し、地方の社会統合促進を目的としてエネルギー調査に従事させると述べた。また、本年11月頃に自身のドミニカ共和国訪問を実現させたいとも述べた。

オ. 23日、ハイチ農務省が、豚流行性下痢がドミニカ共和国、米国、カナダ、ブラジル、メキシコで発生していることからハイチ国内における感染を防ぐために生きた豚の輸入を禁止している、とメディアが報じた。

カ. 23日、当地駐在韓国大使館のJong Won Kim 商務担当官とCecilio Santana 大韓貿易投資振興公社ドミニカ(共)当地代表は、現在韓国企業がプエルト・プラタ県(北部)において太陽光パネルの生産と発電事業に参入するために準備を進めているとメディアのインタビューに答えた。また、今月26日には、韓国企業の売り込みミッションが来訪しサントドミンゴのバルセロホテルにおいて商談会を開催、さらに8月には、韓国企業10社が当国への投資を目的とした提携企業探しのために来訪する予定と述べた。

(7) 第3回カカオ世界会議

18日、第2回カカオ世界会議がオランダのアムステルダムで世界30ヶ国から1,000名の参加者を得て開催された。この会議において、Jean-Marc Anga カカオ世界機構理事長は、2016年3月の第3回カカオ世界会議を当国で開催する旨発表した。

(7) 国際機関

ア. 6日、米州開発銀行は、電力送電網の近代化並びに送電ロス削減のために7,800万米ドルの融資を行う旨発表した。2013年の当国平均送電ロスは33%に上ることから、2017年には10%削減の23%を目指す。

イ. 9日、米州開発銀行は、大統領府が今後36ヶ月掛けて行う社会保障事業に対し

て45万米ドル相当の技術支援を行うと発表した。

ウ. 16日、欧州連合は、2万人のバナナ栽培者を支援するために国連開発計画、経済企画開発省、ドミニカ農産企業審議会、バナナ生産者組合と協力し550万ユーロを技術支援と組織開発に、700万ユーロを栽培者への融資基金として、合計1,250万ユーロの支援を行うと発表した。

エ. 25日、米州開発銀行は、サントドミンゴ県、モンテ・プラタ県、首都圏貧困者およそ90万人を対象にした、医療サービス改善の為に1億米ドルの融資を決定した。融資枠を3億米ドルまで拡大する事が可能、償還期間16.5年（うち据置期間14年間）。

(別添1) 経済指標

(別添2) 疾病発生状況

(了)